

## 人、地域、環境と響きあうこと—— それが私たちの事業活動の重要なテーマです。

### 環境保全に対する従業員の、意識向上と理解促進に努めています。

イオンモールでは、独自の環境教育体系を整備し、下記のような活動を推進しています。

- 1 従業員向けの一般環境教育ビデオを作成し、全従業員が受講を完了。当社ショッピングセンターのメンテナンス業務を担当し常駐しているイオンテクノサービスも、常駐者全員が受講。
- 2 特定業務として、設備の維持管理等に資格、もしくは資格に準ずる経験を要する業務に携わる者を選任し、必要な教育・セミナーの受講、訓練等を実施。
- 3 事故・緊急事態に対応する緊急業務者を選任し、緊急事態を想定した訓練を可能な限り実施。
- 4 内部環境監査員教育を定期的に行い、監査員を育成。

今後はテナント従業員にも環境教育を行い、環境啓蒙活動の拡大を図っていきます。



環境教育セミナー

### 地域への情報発信、人びととの交流を通じた環境保全活動にも力を注いでいます。

イオンモールが開発・運営するショッピングセンターでは、地域コミュニティの中心として、さまざまな情報発信、交流が行われています。こうした活動のなかで、イオンモールの環境保全活動への理解促進、環境保全に対するお客さまの意識の向上を目指しています。また、ショッピングセンター内にイオンホールを設け、地域の人びとに開放。地域の環境保全団体をはじめ、市民サークルや福祉団体などの活動や発表の場として活用されています。



ショッピングセンターづくりでは、植樹だけでなく、敷地内にあった大木の保護も行っています。倉敷SCでは、樹齢70余年の大樹の一部を敷地中央部に移植し「栴檀の森」を創りました。



地域環境の保全活動は樹木の保護や緑化の推進にとどまりません。岡崎SCでは敷地内にて出土された古墳群を保存して、「イオン藤さき古墳広場」として市民の皆さまに開放しています。



地域社会のコミュニティセンターとして、地域の皆さまがさまざまな活動にご利用いただけるよう、SC内のスペースを積極的に提供しています。(写真は下田SCで行われた結婚式)

### 誰もが気持ちよくショッピングできる、

### バリアフリーのショッピングセンターづくりを進めています。

子どもからお年より、そして妊婦やハンディキャップを持った方まで、あらゆるお客さまが気持ちよく利用できるように。イオンモールでは、バリアフリーの思想に基づいたショッピングセンター



づくりを推進しています。車イスのお客さまのための専用駐車場をはじめ、通路やトイレ、エレベーター、自動販売機など、誰もが快適に利用できるための工夫をショッピングセンター内の随所に施しており、多くのショッピングセンターで「ハートビル法」(高齢者・身障者の方々が円滑に利用できる建築に関する法律)の適用を受けています。

車イスのお客さまが自動車への乗り降りをスムーズに行えるよう、ゆとりあるスペースを確保した専用駐車場を設けています。



段差のある場所にはスロープを設けて移動しやすくするなど、すべてのお客さまが快適に利用できる施設づくりを進めています。



施設面だけでなく、ソフト面でのバリアフリーも積極的に推進。イオン下田SCでは全国初のSC内デイサービス(通所介護)センターを設置しています。

### 環境会計について

環境保全のために実施した環境に関する費用対効果、金額、収支の把握は大変貴重な意味を持っています。現状では国際ルール等も定まっておらず、手法・公表内容などの課題もありますが、今後段階的に環境コストおよびその効果をより明確に把握し、公表していく方針です。